

令和5年度事業計画(美術館)

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益目的事業2(展覧会事業)

1. 「吹きガラス展」の開催

- ア. 名称 「吹きガラス 妙なるかたち、技の妙」
- イ. 会期 令和5年4月22日(土)～令和5年6月25日(日)
- ウ. 概要 溶けた熱いガラスに息を吹き込んで器物を成形する吹きガラス。ガラスという素材の性質を活かした吹きガラスの登場は、ガラスならではの〈かたち〉の誕生でもあった。本展では、吹きガラスならではの表現を生み出した作り手の〈技〉を切り口に、古今東西の特色ある吹きガラス作品をご覧いただくとともに、現代のガラス作家らによる技法研究の成果を紹介し、かつての名もなき吹きガラス職人たちの創意工夫に迫る。
- エ. 展示 ・「吊手付二連瓶」 シリア 4～5世紀 岡山市立オリエント美術館蔵
・「レース・グラス大皿」 イタリア 17世紀 箱根ガラスの森美術館蔵
・「藍色ちろり」 日本 18世紀 当館蔵
- オ. 備考 共催：読売新聞社 巡回：無し

2. 「虫めづる展」の開催

- ア. 名称 「虫めづる日本の人々(仮称)」
- イ. 会期 令和5年7月22日(土)～令和5年9月18日(日)
- ウ. 概要 虫は古くから、和歌、物語、美術作品に登場し、季節の移り変わりや、人の心情を表わすものとして大事な役割を果たしている。中国から伝来し日本で珍重された草虫図の中にも多くの虫たちが描かれており、特に江戸時代には、博物学などの様々な影響を受け、多彩な草虫図が生み出された。本展では大勢の人々が虫に親しんだ江戸時代を中心に、古くから育まれ現代へと受け継がれた日本の虫めづる文化を紹介する。
- エ. 展示 ・重要文化財「菜蟲譜」伊藤若冲 一巻 寛政2年(1790)頃
佐野市立吉澤記念美術館蔵
・重要美術品「夏姿美人図」喜多川歌麿 一幅 寛政6～7年頃(1794～95)
遠山記念館
・「鈴虫蒔絵湯桶」 一口 江戸時代 17世紀 当館蔵
- オ. 備考 共催：朝日新聞社 巡回：無し

3. 「幕末展」の開催

- ア. 名称 「激動の時代—幕末明治の絵師たち(仮称)」

- イ. 会期 令和5年10月11日(水)～令和5年12月3日(日)
- ウ. 概要 江戸から明治へと移り変わる激動の時代、日本絵画の伝統を受け継ぎながら新しい表現へ挑戦した絵師たちが活躍した。天保の改革、黒船来航、天変地異、倒幕運動といった混沌とする世相を背景に、劇的で迫力ある造形や洋風表現を取り入れた画風、伝統と創意が結びついた表現など、多彩な作品が生まれている。本展では幕末明治期に腕を奮った多士済々の絵師たちを特集し、その魅力に迫る。
- エ. 展示
- ・「群船図」 安田雷洲 一幅 江戸時代 19世紀 日本民藝館蔵
 - ・「観世音靈験一ツ家の旧事」 歌川国芳 大判錦絵三枚続 江戸時代 19世紀 神奈川県立歴史博物館蔵
 - ・「鍾馗ニ鬼図」 河鍋暁斎 二幅 明治時代 19世紀 板橋区立美術館蔵
- オ. 備考 共催：朝日新聞社 巡回：無し

4. 「コレクション展」の開催

- ア. 名称 「サントリー美術館コレクション名品展(仮称)」
- イ. 会期 令和5年12月20日(水)～令和6年1月14日(日)
- ウ. 概要 サントリー美術館は「生活の中の美」を基本理念に掲げ、長年にわたって活動を続けてきた。その成果は、これまでに開催された多彩な企画展に象徴される一方で、日本人の生活に根ざした美術作品の蒐集によって、独特のコレクションを形成するに至っている。本展では改めてこれらのコレクションを振り返り、国宝・重要文化財指定作品のすべてと、「サントリー美術館と言えばコレ!」といった期待に応える数々の名品を一挙に公開する。
- エ. 展示
- ・国宝「浮線綾螺鈿蒔絵手箱」 一合 鎌倉時代 13世紀
 - ・重要文化財「佐竹本・三十六歌仙絵 源順」 一幅 鎌倉時代 13世紀
 - ・重要文化財「白泥染付金彩薄文蓋物」 尾形乾山 一合 江戸時代 18世紀
(上記いずれも当館蔵)
- オ. 備考 共催：無し 巡回：無し

5. 「有楽齋展」の開催

- ア. 名称 「大名茶人 織田有楽齋」
- イ. 会期 令和6年1月31日(水)～令和6年3月24日(日)
- ウ. 概要 織田有楽齋こと織田長益は天文16年(1547)、織田信秀の11男として誕生。武将としてまた文化人として織田、豊臣、徳川の3天下人に仕えて時流を乗り切り、戦乱を生き延びた彼の美意識は現代の書道や茶道にまで息づき、規範とされている。本展は彼の400回遠忌にあたり、ゆかりの寺である正伝永源院に伝わる文化財を中心に数々の名品を通じて織田有楽齋という人物を今一度捉え直す。
- エ. 展示
- ・「織田有楽像」 一軀 桃山時代 正伝永源院蔵
 - ・「連鷺図襖」 狩野山楽 16面 桃山時代 正伝永源院蔵

- ・重要美術品「大井戸茶碗 銘 有楽」 一口 朝鮮王朝時代 16世紀
東京国立博物館蔵

オ. 備考 共催：正伝永源院、読売新聞社 巡回：京都文化博物館

収益事業

1. 物販事業

企画展や収蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズの展開に加え、日々の生活に彩りを添える商品を季節ごとに投入して店舗の鮮度を維持し、お客様に繰り返し足を運んでいただけるショップを目指す。

2. 飲食事業

「加賀麩 不室屋」の歴史・伝統を活かした食事・甘味メニューに加え、季節感を取り入れたメニューを展開し、お客様層の拡大およびリピーターの増加を図る。また物販においても手土産・贈答にご利用いただける価格帯の詰め合わせを充実させ、飲食事業の売上の底上げを図る。

3. 貸室事業

「茶室」の貸出により収益を得るだけでなく、当館ならではの価値の訴求に寄与し、結果として日本のお茶文化の普及にも貢献していく。

以 上